

ご担当者様各位

2026年6月
成蹊大学文学部芸術文化行政コース5期生

制作演習A・B・C・D 成果発表会
『おしゃべりらいと吉祥寺』開催のお知らせ

このたび、私たち成蹊大学文学部芸術文化行政コース5期生は、授業の成果発表として、『おしゃべりらいと吉祥寺』を開催いたします。

皆さまお誘いあわせの上、ご来場いただけますと幸いです。

◆企画詳細

2026年7月9日(木)～7月10日(金)

12:30-16:00

入場無料・申込み不要

[会場]

〒180-8633

東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

成蹊大学11号館ラーニングcommons トーリウム1-2階

[主催]

成蹊大学文学部芸術文化行政コース

◆『おしゃべりらいと吉祥寺』とは？

参加者の皆さまとコーヒーを飲みながら、吉祥寺について語り合うイベントです。皆さまとコース生が「らいと(light)」に「おしゃべり」することで、お互いにとっての吉祥寺を共有・再発見する=「りらいと(rewrite)」する場をつくりたい、という意味が込められています。

◆イベント概要

本企画は「出会いなおし」をテーマに、吉祥寺についての自主制作冊子(ZINE)を配布し、それをもとに、コーヒーを片手に語り合うイベントです。

成蹊大学文学部芸術文化行政コース5期生は、吉祥寺の歴史と文化に着目し、その魅力を自分たちなりの視点から見つけてシェアするという主題を掲げました。こうした目標から、世界各地で現地の人たちとの交流活動を続けているテンギョー・クラを並走者として迎え、以下の活動を行いました。

1つは、吉祥寺のレジェンドにインタビューを行った通称「ドンタビュー」です。吉祥寺の

文化を象徴する要素として「喫茶店」「商店街」「古本屋」「映画」という4つのキーワードを設定し、それぞれに深く関わりを持つ方々にお話を伺いました。そしてもう1つは、吉祥寺を舞台にした「フィクションストーリー」の創作です。ドンタビューや街でのさまざまな出会いをベースに、学生14名とテンギョー・クラが、短編ストーリーをつくりました。事実をもとにしながらも、「この場所ではきっとこういう会話があった」「吉祥寺のこんな側面を描きたい」「こうあったらいいな」という想像や期待、フィクションの要素が入った物語を紡ぎ、一人ひとりにとっての吉祥寺の姿を記しました。

イベント当日には、そんな2つの活動内容をまとめた冊子をお配りします。吉祥寺に長く関わってきた人から、日々通学している学生、ふと立ち寄った人まで、様々な人の視点を交差させることによって、見慣れた吉祥寺との新たな「出会い」を創出することを目指します。

吉祥寺というまちと、ひとと、そして自分自身との「出会いなおし」の機会として、みんなで吉祥寺について「おしゃべり」しませんか。

◆アーティストプロフィール

テンギョー・クラ(ヴァガボンド)



2001年に渡米後、アジア・ヨーロッパ・南米など各地で教師・フォトストーリーテラーとして活動。2017年からは東京都の文化事業TURNに交流プログラムアーティストとして参加。以降、福祉やコミュニティの領域と関わりながら、人と人を繋ぐ場づくりを実践。現在も日本や欧州・アフリカ南部諸国などを拠点に、個の属性を越境し文化的社会的揺らぎを生む“カルチャーダイブ”を展開中。

◆成蹊大学文学部芸術文化行政コース概要

芸術文化を通じて地域や社会と向き合う活動の担い手を育成するコースです。武蔵野市の行政、文化施設、NPO、市民などと協働しながら実践を学び、多様な人びとがともに生きる社会のあり方を考えていきます。

【芸術文化行政コース HP】 <https://seikei-aaca.wixsite.com/seikeiartproject>

【Instagram】 <https://www.instagram.com/seikei.artbrilliant/>

【X (旧 Twitter)】 https://x.com/Seikei_Art

吉祥寺について

みんなで語り合いませんか？



成蹊大学 文学部 芸術文化行政コース 第5期生 成果発表会

おしゃべりらいと吉祥寺

2026.7.9(木)~10(金) 12:30~16:00

入場無料・申込み不要

@成蹊大学11号館ラーニングコモンズ トーリウム1-2階

つながる、 出会いなおす、 吉祥寺



「吉祥寺について、みんなで語り合いませんか？」我々“げいぶん”5期生は、吉祥寺の歴史と文化に着目し、我々なりに魅力を見つけてシェアすることをテーマに活動してきました。

本イベントでは、コース生による自主制作冊子（ZINE）を配布するとともに、皆さまが吉祥寺について語りあう場を創り出します。冊子には、フィールドワークに基づき吉祥寺の文化に深く関わりを持つ方のお話を伺った「ドンタビュー」、コース生が見る吉祥寺を創作要素とともに書き表した「フィクションストーリー」が掲載されています。イベント当日は、おしゃべりのきっかけとして、世界各地で現地の人たちと交流活動を続けてきたテンギョー・クラがコーヒーを振る舞います。皆さまが冊子とともにライトにおしゃべりする中で、吉祥寺というまち・ひと・自分自身と「出会いなおす」機会となることを心から願います。

◆成蹊大学文学部芸術文化行政 コース（げいぶん）

成蹊大学 文学部 学科横断型のコース。
芸術文化を通じて地域や社会と向き合う活動の担い手を育成する。武蔵野市の行政、文化施設、NPO、市民などと協働しながら実践を学び、多様な人びとがともに生きる社会のあり方を考える。

◆テンギョー・クラ （ヴァガボンド）

2001年の渡米を皮切りに、教師やストーリーテラーとして20年以上世界各地で生活し、よそ者として現地の人たちとの交流活動を続けている。



げいぶん
website



成蹊大学
アクセス



主催：成蹊大学 文学部 芸術文化行政コース

協力：成蹊大学 高等教育開発・支援センター 教育開発・支援課